

「何が高校生活に豊かさをもたらすのか～続編」

本日から、2026年度の学業が始まります。今年も、生徒の皆さんと先生方と、楽しい学校生活を過ごしたいと思います。皆さんのために、働いて働いて働いてまいります。

さて、後期終業式の日、「今の『本気』は本当にMAXなのか。もっともっと夢中になってみてもいいのではないか」ということ、そして最初の一步を踏み出す勇気を後押しするマジック・ワード「やってみよう！」をご紹介しました。この話には続きがあります。

何かに取り組むということは、そのプロセスの中で、当然うまくいかないこともあります。むしろ、必死に取り組むほど、挫折の連続だと思えます。すべてが順調にゴールまでたどり着くことのほうが、少ないのではないのでしょうか。そんな挫折しそうなときに役立つ、マジック・ワードがあります。「できる！」です。この言葉を、仲間と見つめ合いながら、繰り返し繰り返し唱え続けると、力が湧いてくる不思議な言葉です。ぜひ、ご活用ください。

「やってみよう」「できる」「だいじょうぶ」といったポジティブな言葉を友人と共有することは、意外なほど大きな力を与えてくれます。これは、生成AIが画面にパタパタと並べるテキストや、Siriの乾いた音声にはできないものと考えます。学校という場に人が集まるべき理由は、ここにあるのではないのでしょうか。何が高校生活に豊かさをもたらすのか。それは、共に考えアイデアを出し合い、励まし合いながら、共にリスクに立ち向かうことができる友人なのではないのでしょうか。